

带状疱疹ワクチン

定期接種が始まる



接種の対象者

带状疱疹ワクチン定期接種が始まります。定期接種の対象者は以下に該当する方です。

令和七年から令和十一年度まで経過措置として、年度内に、六五、七十、七五、八十、八五、九十、九五、百歳になる方が対象となります。また、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方。百歳歳以上の方については、令和七年度に限り全員対象となります。

ワクチンは二種類

国内で接種できる带状疱疹ワクチンは二種類あります。一つは元々水痘ワクチンとして開発された生ワクチン「ビケン」。もう一つが十八年に開発、承認された組み換えワクチン「シングリックス」です。

効果の持続期間も「ビケン」が五年程度とされるのに対し、「シングリックス」は十年が経過しても高いと報告されています。

また「ビケン」は生ワクチンのため免疫低下者には接種できないが、組み換えワクチンの「シングリックス」は、免疫低下などの罹患リスクが高い十八歳以上が適応となっています。

費用はいくら

接種に伴う自己負担はこの地域では次のようになっています。

- ・生ワクチン 2500円
- ・組み換えワクチン(2回接種) 一回6500円×2

定期接種対象者以外の方についても費用の一部補助を行っています。接種の申し込みは各医療機関で行ってください。

※開始時期や自己負担額は自治体により異なります。最寄りの自治体にお問い合わせください。

加齢に伴い体内潜伏のウイルスが活性化

带状疱疹は、子どもの頃に感染した水痘ウイルスが原因で起こります。水痘が治った後も体の中の知覚神経節などに潜伏を続けたウイルスが、加齢や疲労による免疫機能の低下にあわせ、再び表面に出てきて発症します。主な症状は皮膚表面の発疹や痛みで、神経に沿って帯状に発疹が表れるため带状疱疹と呼ばれています。

国立病院機構東京病院感染症科の永井英明部長によれば「脇腹などに出る場合が多いが、目の近くにできることもあり、その場合には失明の恐れがある。顔面神経に出れば顔面神経まひ

につながる」と報告しています。**八十歳までに三人に一人が発症**

加齢が大きな要因のため、七十代がかかる病気というイメージが強い带状疱疹ですが、年齢別発症率を見ると、五十代でも発症率は二割近くなっています。带状疱疹の患者数を調べた研究では、年々発症率の上昇が報告されており、「八十歳までに三人に一人が発症する」と推計されています。

また加齢以外に発症リスクを高めるのが基礎疾患です。免疫が抑制されるHIV感染症やがん患者ではリスクが高いが、ほかにも膠原病や慢性閉塞性肺疾患、ぜんそく、糖尿病などもリスクを高めるといわれています。

脳卒中などの発症リスクも上昇

近年、注目されているのが带状疱疹の発症に伴う合併症です。带状疱疹後神経痛や目の疾患より発生率は少ないものの、脳梗塞や一過性脳虚血発作などが報告されています。



利用者の作品

写真

新宮市

中本良子さん
写真帳より「花一輪」



新宮市

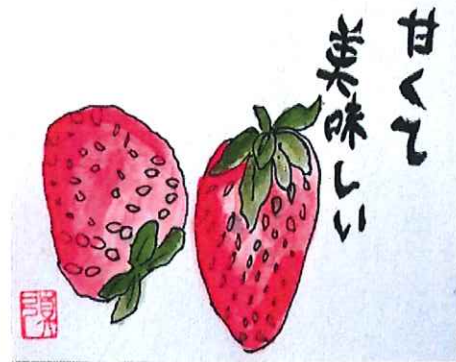
井本澄代さん



絵手紙

紀宝町

元屋敷眞弓さん



水墨画

新宮市

大坂和子さん



作品

新宮市

大野千代さん



俳句

新宮市

潮崎初枝さん

豊かなる那智の大滝

誇りとす

孫に手を引きて引かれて

見る花火



四季のたより

三月二十六日、静寂の中に小鳥の声と清流のせせらぎの音がかすかに聞こえてくる飛鳥町小阪のケアプランセンターあすか法人本部。

枝垂桜の古木が写真マニアの愛する場所でもあり、あすかの職員が集う場所です。

ここでの長閑な春の一日、忘れられた時間が戻ってくるような錯覚と快い眠気をこらえながら、ウトウトする自分。

話声も笑声も、かすかに聞こえている。一瞬のうたた寝をやり過ごして、平気にいる自分。春はおぼろ、うたた寝の・・・

